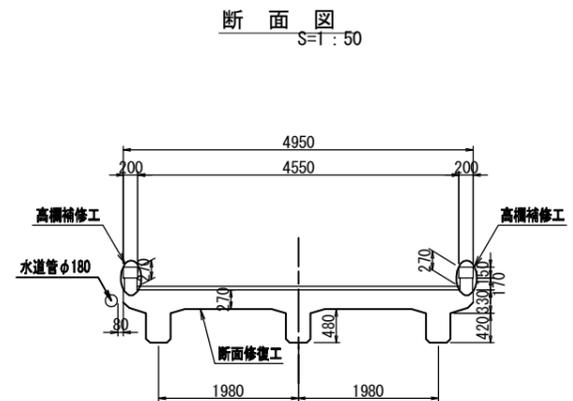
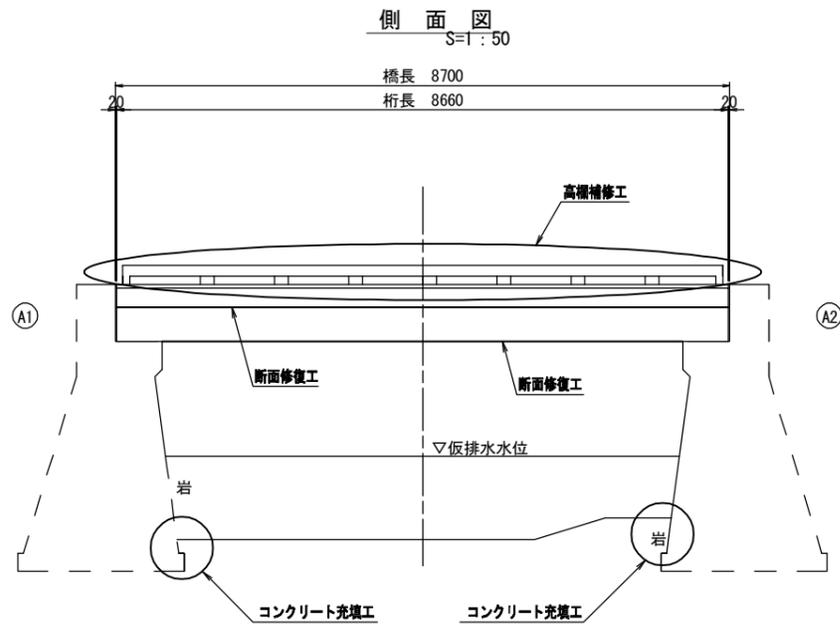
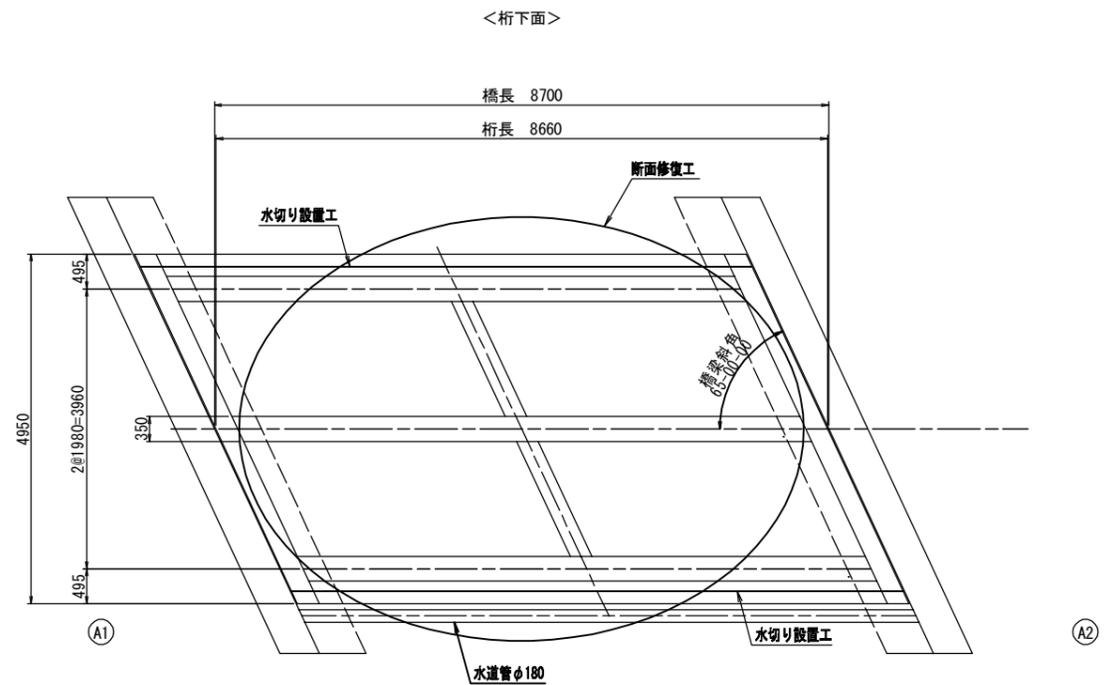
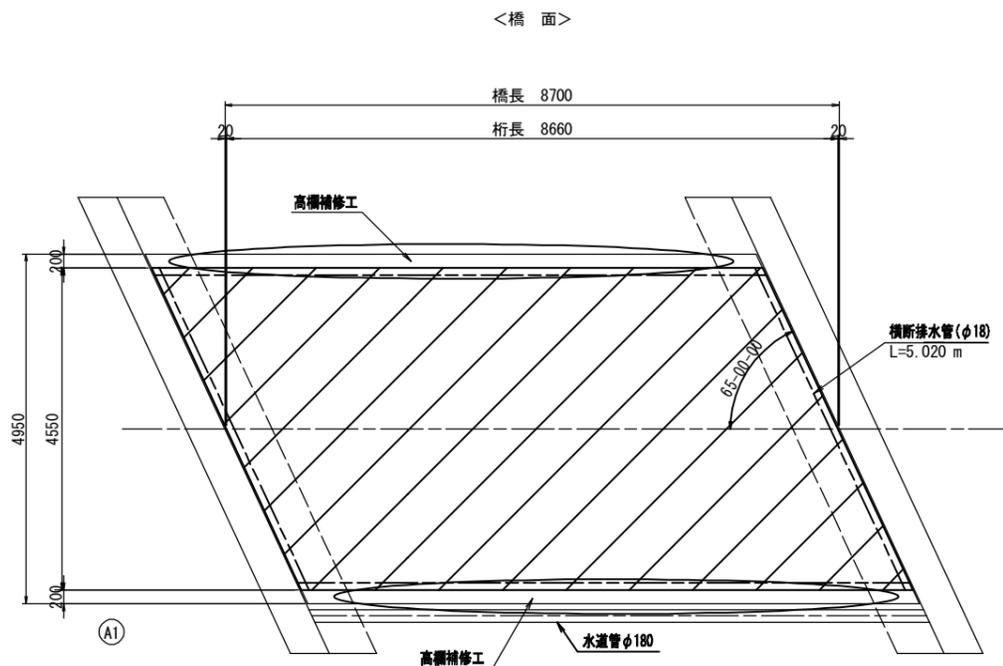


対策一般図

(一ノ井橋)



平面図
S=1:50



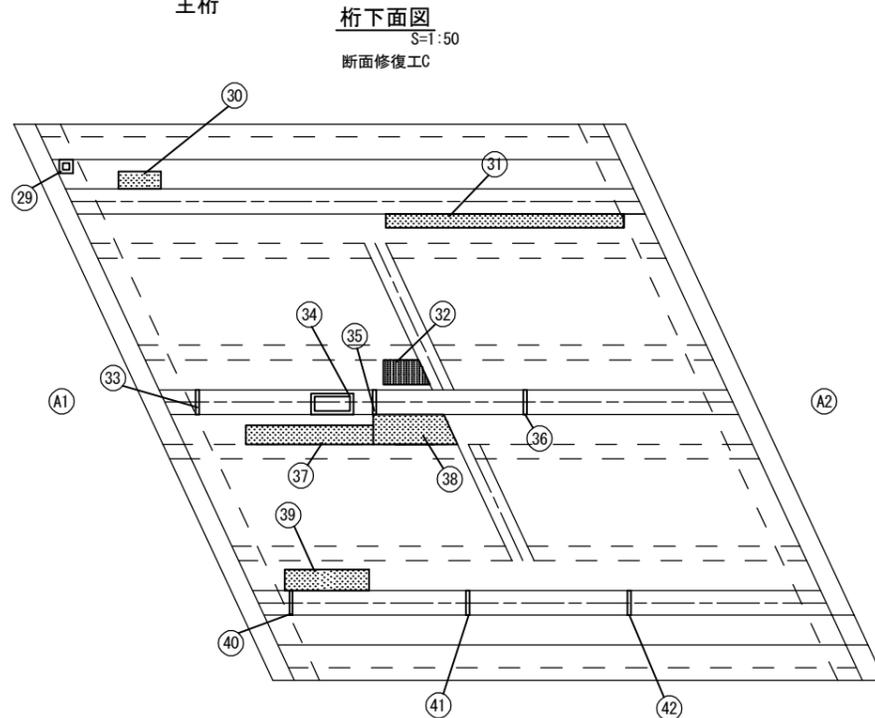
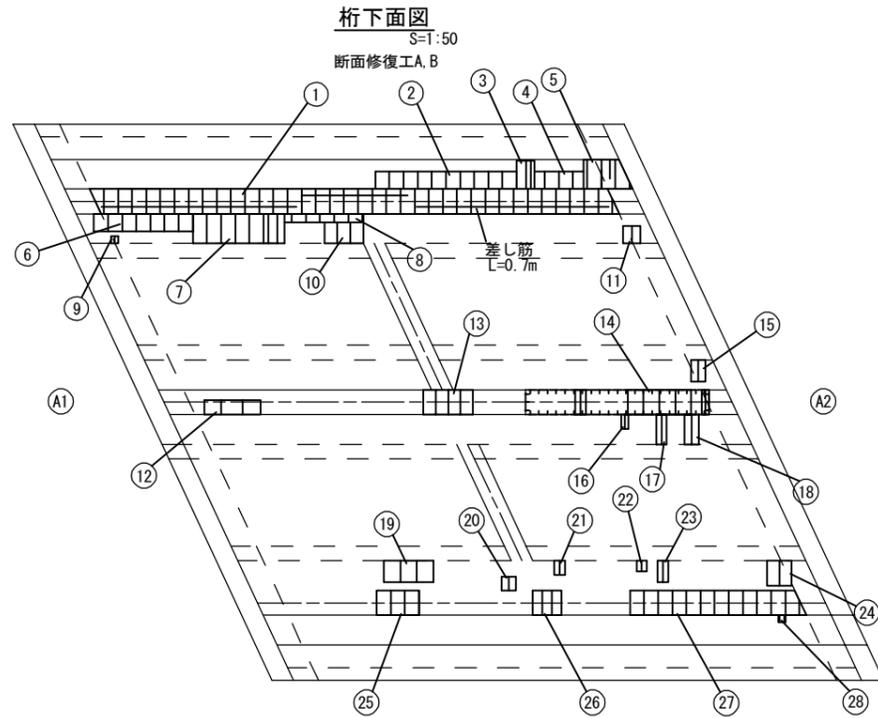
工事名	令和2年度 道路メンテナンス事業 市道瀧池比自岐下川原線一ノ井橋橋梁修繕工事		
図面名	対策一般図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	1/8
会社名			
事業者名	伊賀市 道路河川課		

A3出力時は、表記縮尺の倍です。

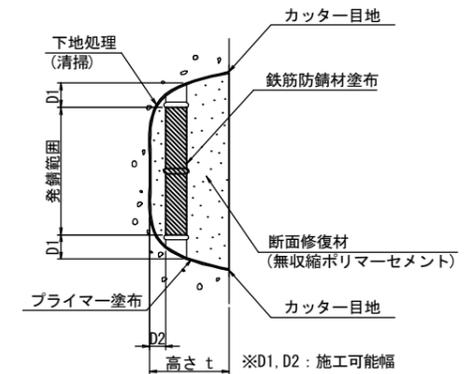
上部工補修図(1)

(一ノ井橋)

主桁



断面修復工A 詳細図 S=None

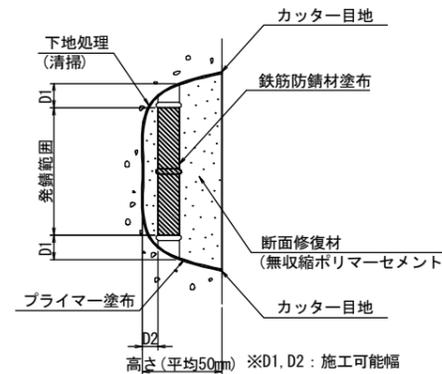


- 【施工手順】
- 脆弱部除去
 - 鉄筋の錆除去
 - プライマー塗布
 - 鉄筋防錆材塗布
 - 断面修復材充填
 - 完了

(注記)

- 剥離及び浮上コンクリートは、ハンマー等で完全に除去し、鉄筋がある場合は発錆範囲+D1まではつり出す
- 錆が鉄筋の裏面まで達する場合は、鉄筋防錆材塗布が可能な深さD2まで、はつりと
- 鉄筋は、ワイヤーブラシ等で錆を除去し、鉄筋防錆材を塗布する

断面修復工B 詳細図 S=None

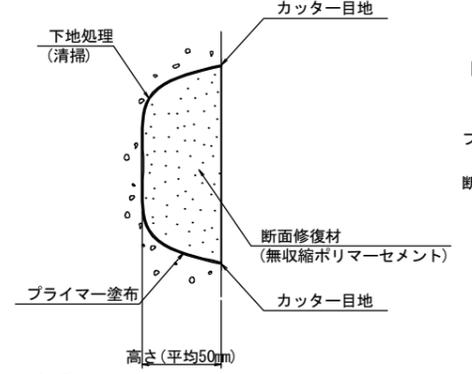


- 【施工手順】
- 脆弱部除去
 - 鉄筋の錆除去
 - プライマー塗布
 - 鉄筋防錆材塗布
 - 断面修復材充填
 - 完了

(注記)

- 剥離及び浮上コンクリートは、ハンマー等で完全に除去し、鉄筋がある場合は発錆範囲+D1まではつり出す
- 錆が鉄筋の裏面まで達する場合は、鉄筋防錆材塗布が可能な深さD2まで、はつりと
- 鉄筋は、ワイヤーブラシ等で錆を除去し、鉄筋防錆材を塗布する

断面修復工C 詳細図 S=None



(注記)

- 剥離及び浮上コンクリートは、ハンマー等で完全に除去し、鉄筋がある場合は発錆範囲+D1まではつり出す

断面修復工A集計表

番号	損傷の種類	部材名	W(m)	L(m)	t(m)	N(箇所)	A(m ²)	V(m ³)
①	剥離・鉄筋露出	主桁	7.300	0.350	0.200	1	2.555	0.5110
合計							2.555	0.5110

断面修復工B集計表
平均厚50mm

番号	損傷の種類	部材名	W(m)	L(m)	t(m)	N(箇所)	A(m ²)	V(m ³)
②	剥離・鉄筋露出・うき	主桁	2.000	0.250	0.050	1	0.500	0.0250
③	剥離・鉄筋露出・うき	主桁	0.250	0.400	0.050	1	0.100	0.0050
④	剥離・鉄筋露出・うき	主桁	0.700	0.250	0.050	1	0.175	0.0088
⑤	剥離・鉄筋露出・うき	主桁	0.600	0.420	0.050	1	0.252	0.0126
⑥	剥離・鉄筋露出・うき	主桁	1.400	0.250	0.050	1	0.350	0.0175
⑦	剥離・鉄筋露出・うき	主桁	1.300	0.420	0.050	1	0.546	0.0273
⑧	剥離・鉄筋露出・うき	主桁	1.100	0.150	0.050	1	0.165	0.0083
⑨	剥離・鉄筋露出	主桁	0.100	0.100	0.050	1	0.010	0.0005
⑩	剥離・鉄筋露出	主桁	0.550	0.300	0.050	1	0.165	0.0083
⑪	剥離・鉄筋露出	主桁	0.250	0.250	0.050	1	0.063	0.0032
⑫	剥離・鉄筋露出	主桁	0.800	0.200	0.050	1	0.160	0.0080
⑬	剥離・鉄筋露出	主桁	0.700	0.350	0.050	1	0.245	0.0123
⑭	剥離・鉄筋露出	主桁	2.600	0.350	0.050	1	0.910	0.0455
⑮	剥離・鉄筋露出	主桁	0.200	0.300	0.050	1	0.060	0.0030
⑯	剥離・鉄筋露出	主桁	0.100	0.200	0.050	1	0.020	0.0010
⑰	剥離・鉄筋露出	主桁	0.150	0.500	0.050	1	0.075	0.0038
⑱	剥離・鉄筋露出	主桁	0.200	0.500	0.050	1	0.100	0.0050
⑲	剥離・鉄筋露出	主桁	0.700	0.300	0.050	1	0.210	0.0105
⑳	剥離・鉄筋露出	主桁	0.200	0.200	0.050	1	0.040	0.0020
㉑	剥離・鉄筋露出	主桁	0.150	0.200	0.050	1	0.030	0.0015
㉒	剥離・鉄筋露出	主桁	0.150	0.150	0.050	1	0.023	0.0012
㉓	剥離・鉄筋露出	主桁	0.150	0.300	0.050	1	0.045	0.0023
㉔	剥離・鉄筋露出	主桁	0.350	0.350	0.050	1	0.123	0.0062
㉕	豆板・剥離・鉄筋露出	主桁	0.600	0.350	0.050	1	0.210	0.0105
㉖	剥離・鉄筋露出	主桁	0.400	0.350	0.050	1	0.140	0.0070
㉗	剥離・鉄筋露出	主桁	2.500	0.350	0.050	1	0.875	0.0438
㉘	剥離・鉄筋露出	主桁	0.100	0.100	0.050	1	0.010	0.0005
合計							5.602	0.2806

断面修復工C集計表
平均厚50mm

番号	損傷の種類	部材名	W(m)	L(m)	t(m)	N(箇所)	A(m ²)	V(m ³)
⑲	剥離	主桁	0.200	0.200	0.050	1	0.040	0.0020
⑳	うき	主桁	0.600	0.250	0.050	1	0.150	0.0075
㉑	うき	主桁	3.300	0.200	0.050	1	0.660	0.0330
㉒	豆板	主桁	0.600	0.350	0.050	1	0.210	0.0105
㉓	その他(施工跡)	主桁	0.050	0.350	0.050	1	0.018	0.0009
㉔	剥離	主桁	0.600	0.300	0.050	1	0.180	0.0090
㉕	その他(施工跡)	主桁	0.050	0.350	0.050	1	0.018	0.0009
㉖	その他(施工跡)	主桁	0.050	0.350	0.050	1	0.018	0.0009
㉗	豆板	主桁	1.800	0.300	0.050	1	0.540	0.0270
㉘	豆板	主桁	1.100	0.420	0.050	1	0.462	0.0231
㉙	豆板	主桁	1.200	0.300	0.050	1	0.360	0.0180
㉚	その他(施工跡)	主桁	0.050	0.350	0.050	1	0.018	0.0009
㉛	その他(施工跡)	主桁	0.050	0.350	0.050	1	0.018	0.0009
㉜	その他(施工跡)	主桁	0.050	0.350	0.050	1	0.018	0.0009
合計							2.710	0.1355

鉄筋質量表(SD345)

種別	径	長さ(mm)	本数	単位質量(kg/m)	一本当たり質量(kg/本)	質量(kg)	摘要
差し筋	D16	700	4	1.56	1.092	4	
合計						D16	4kg

損傷の凡例	
損傷の種類	表示
ひびわれ	
遊離石灰	
剥離	
漏水・滲水	
鉄筋露出	
豆板・空洞	
その他	

※施工時の現地状況により補修範囲が異なる場合は、監督員と協議の上、数量決定すること。

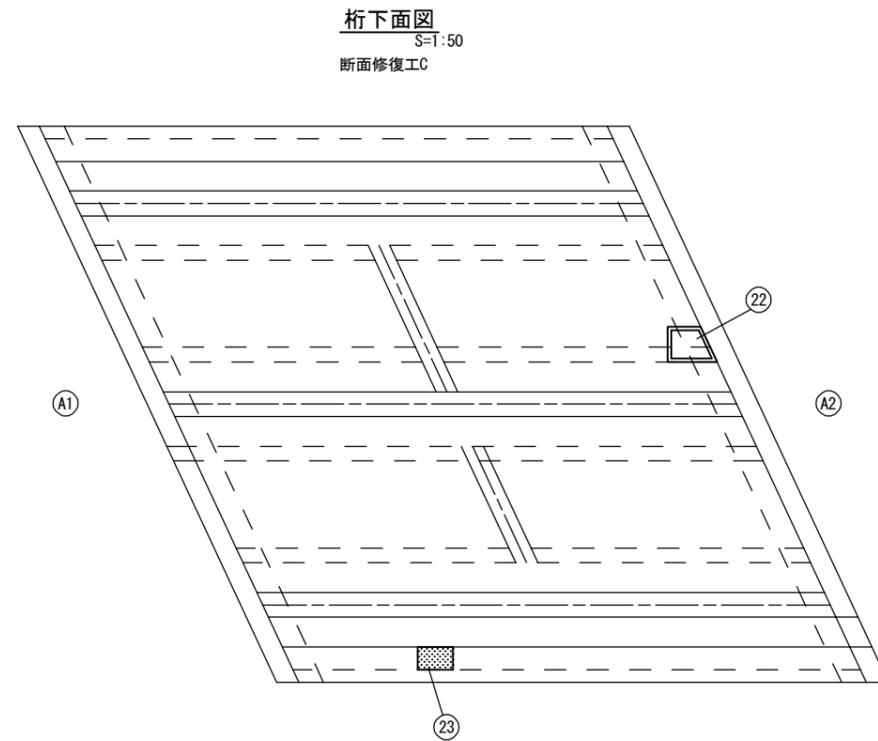
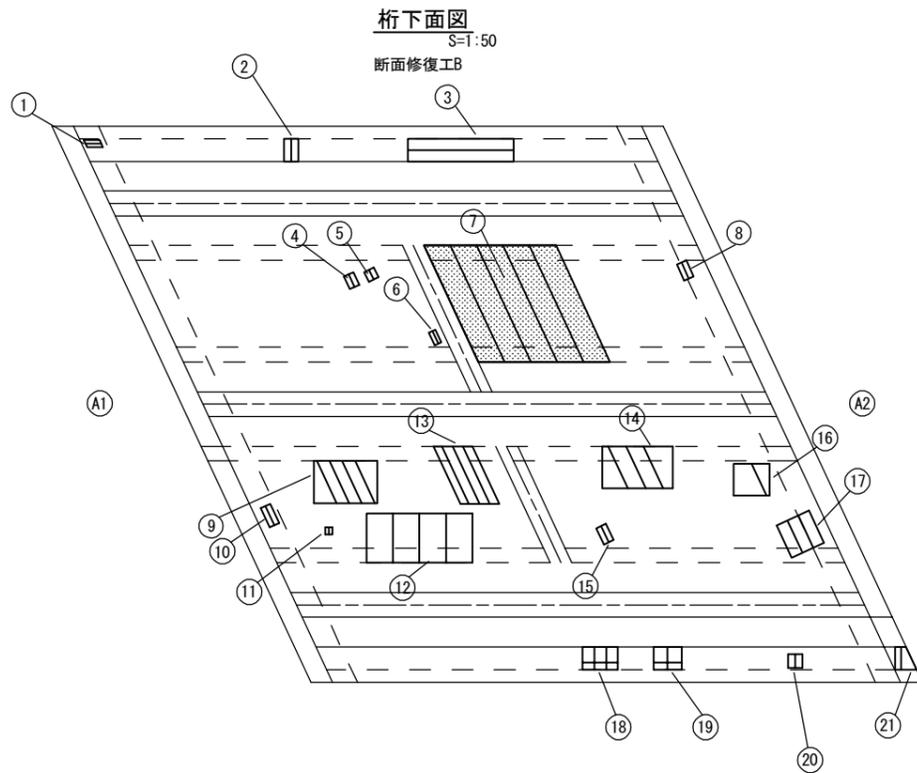
工事名	令和2年度 道路メンテナンス事業 市道蓮池比自岐下川原線一ノ井橋橋梁補修工事		
図面名	上部工補修図(1)		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	2/8
会社名			
事業者名	伊賀市 道路河川課		

A 3出力時は、表記縮尺の倍です。

上部工補修図(2)

(一ノ井橋)

床版



断面修復工B集計表

平均厚50mm

番号	損傷の種類	部材名	W (m)	L (m)	t (m)	N (箇所)	A (m ²)	V (m ³)
①	剥離・鉄筋露出	床版(張出)	0.200	0.100	0.050	1	0.020	0.0010
②	剥離・鉄筋露出	床版(張出)	0.200	0.360	0.050	1	0.072	0.0036
③	剥離・鉄筋露出	床版(張出)	1.500	0.350	0.050	1	0.525	0.0263
④	剥離・鉄筋露出	床版	0.150	0.200	0.050	1	0.030	0.0015
⑤	剥離・鉄筋露出	床版	0.150	0.150	0.050	1	0.023	0.0012
⑥	剥離・鉄筋露出	床版	0.100	0.200	0.050	1	0.020	0.0010
⑦	剥離・鉄筋露出	床版	1.900	1.630	0.050	1	3.097	0.1549
⑧	剥離・鉄筋露出	床版	0.150	0.250	0.050	1	0.038	0.0019
⑨	剥離・鉄筋露出	床版	0.900	0.600	0.050	1	0.540	0.0270
⑩	剥離・鉄筋露出	床版	0.150	0.300	0.050	1	0.045	0.0023
⑪	剥離・鉄筋露出	床版	0.100	0.100	0.050	1	0.010	0.0005
⑫	剥離・鉄筋露出	床版	1.500	0.700	0.050	1	1.050	0.0525
⑬	剥離・鉄筋露出	床版	0.500	0.900	0.050	1	0.450	0.0225
⑭	剥離・鉄筋露出	床版	1.000	0.600	0.050	1	0.600	0.0300
⑮	剥離・鉄筋露出	床版	0.150	0.250	0.050	1	0.038	0.0019
⑯	剥離・鉄筋露出	床版	0.500	0.450	0.050	1	0.225	0.0113
⑰	剥離・鉄筋露出	床版	0.500	0.500	0.050	1	0.250	0.0125
⑱	剥離・鉄筋露出	床版(張出)	0.500	0.360	0.050	1	0.180	0.0090
⑲	剥離・鉄筋露出	床版(張出)	0.400	0.360	0.050	1	0.144	0.0072
⑳	剥離・鉄筋露出	床版(張出)	0.200	0.200	0.050	1	0.040	0.0020
㉑	剥離・鉄筋露出	床版(張出)	0.300	0.360	0.050	1	0.108	0.0054
合計							7.505	0.3755

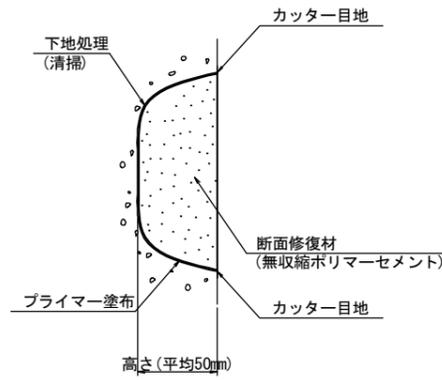
断面修復工C集計表

平均厚50mm

番号	損傷の種類	部材名	W (m)	L (m)	t (m)	N (箇所)	A (m ²)	V (m ³)
㉒	剥離	床版	0.700	0.500	0.050	1	0.350	0.0175
㉓	豆板	床版(張出)	0.500	0.350	0.050	1	0.175	0.0088
合計							0.525	0.0263

断面修復工C 詳細図

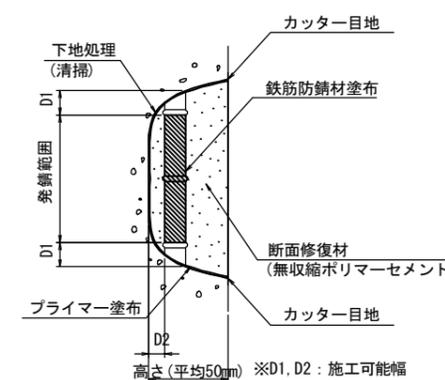
S=None



(注記)
1. 剥離及び浮上コンクリートは、ハンマー等で完全に除去

断面修復工B 詳細図

S=None



(注記)
1. 剥離及び浮上コンクリートは、ハンマー等で完全に除去
(鉄筋がある場合は発錆範囲+D1までは取り出す)
2. 錆が鉄筋の表面まで達する場合は、鉄筋防錆材塗布が可能な深さD2まで、はつりと
3. 鉄筋は、ワイヤーブラシ等で錆を除去し、鉄筋防錆材を塗布する

損傷の凡例	
損傷の種類	表示
ひびわれ	
遊離石灰	
剥離	
漏水・滞水	
鉄筋露出	
豆板・空洞	
その他	

※施工時の現地状況により補修範囲が異なる場合は、監督員と協議の上、数量決定すること。

工事名	令和2年度 道路メンテナンス事業 市道蓮池比古下川原線一ノ井橋橋梁補修工事		
図面名	上部工補修図(2)		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	3/8
会社名			
事業者名	伊賀市 道路河川課		

A 3出力時は、表記縮尺の倍です。

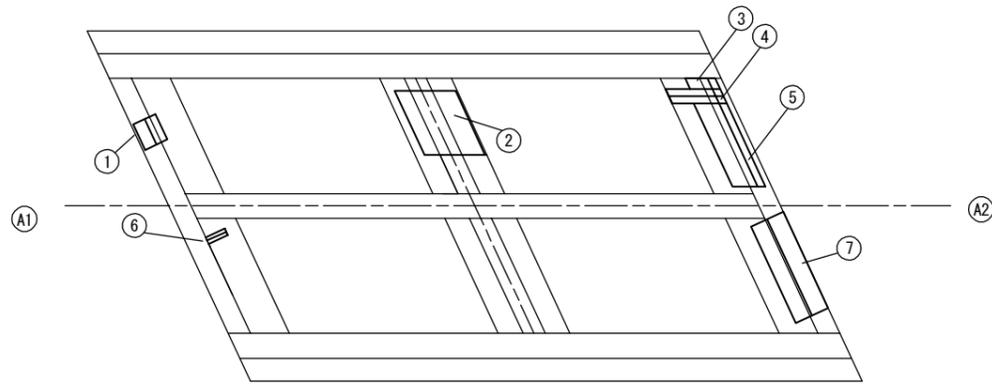
上部工補修図(3)

(一ノ井橋)

横桁

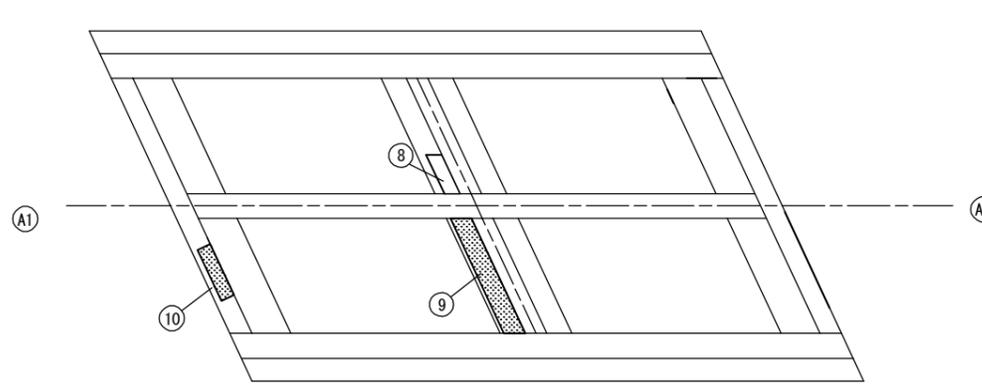
桁下面図
S=1:50

断面修復工B

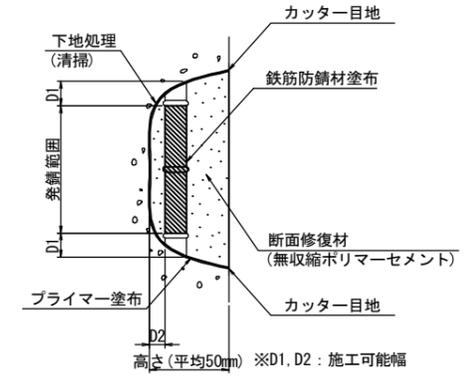


桁下面図
S=1:50

断面修復工C, D



断面修復工B 詳細図
S=None



- 【施工手順】
- 脆弱部除去
 - ↓
 - 鉄筋の錆除去
 - ↓
 - プライマー塗布
 - ↓
 - 鉄筋防錆材塗布
 - ↓
 - 断面修復材充填
 - ↓
 - 完了

(注記)

1. 剥離及び浮上コンクリートは、ハンマー等で完全に除去し、鉄筋の錆除去は発錆範囲+D1まではつり出す
2. 錆が鉄筋の裏面まで達する場合は、鉄筋防錆材塗布が可能な深さD2まで、はつりとする
3. 鉄筋は、ワイヤーブラシ等で錆を除去し、鉄筋防錆材を塗布する

断面修復工B集計表

平均厚50mm

番号	損傷の種類	部材名	W (m)	L (m)	t (m)	N (箇所)	A (m ²)	V (m ³)
①	剥離・鉄筋露出	横桁	0.250	0.400	0.050	1	0.100	0.0050
②	剥離・鉄筋露出	横桁	0.850	0.900	0.050	1	0.765	0.0383
③	剥離・鉄筋露出	横桁	0.400	0.150	0.050	1	0.060	0.0030
④	剥離・鉄筋露出	横桁	0.700	0.200	0.050	1	0.140	0.0070
⑤	剥離・鉄筋露出	横桁	0.480	1.300	0.050	1	0.624	0.0312
⑥	剥離・鉄筋露出	横桁	0.300	0.100	0.050	1	0.030	0.0015
⑦	剥離・鉄筋露出	横桁	0.200	1.500	0.050	1	0.300	0.0150
合計							2.019	0.1010

断面修復工C集計表

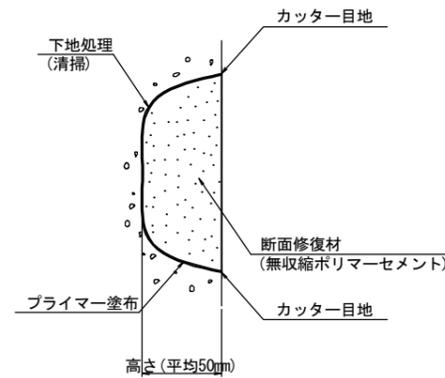
平均厚50mm

番号	損傷の種類	部材名	W (m)	L (m)	t (m)	N (箇所)	A (m ²)	V (m ³)
⑧	豆板	横桁	0.200	0.600	0.050	1	0.120	0.0060
⑨	豆板	横桁	0.270	2.000	0.050	1	0.540	0.0270
合計							0.660	0.0330

断面修復工D集計表

番号	損傷の種類	部材名	W (m)	L (m)	t (m)	N (箇所)	A (m ²)	V (m ³)
⑩	豆板	横桁	0.200	0.800	0.150	1	0.160	0.0240
合計							0.160	0.0240

断面修復工C 詳細図
S=None

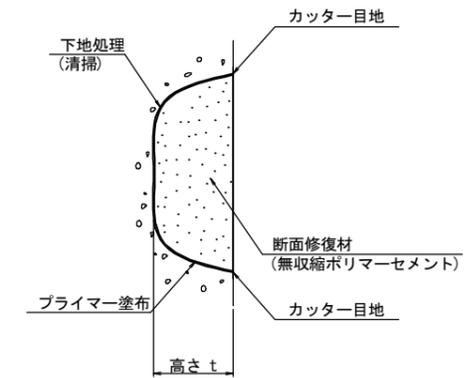


- 【施工手順】
- 脆弱部除去
 - ↓
 - プライマー塗布
 - ↓
 - 断面修復材充填
 - ↓
 - 完了

(注記)

1. 剥離及び浮上コンクリートは、ハンマー等で完全に除去し、鉄筋の錆除去は発錆範囲+D1まではつり出す

断面修復工D 詳細図
S=None



- 【施工手順】
- 脆弱部除去
 - ↓
 - プライマー塗布
 - ↓
 - 断面修復材充填
 - ↓
 - 完了

(注記)

1. 剥離及び浮上コンクリートは、ハンマー等で完全に除去し、鉄筋の錆除去は発錆範囲+D1まではつり出す

損傷の凡例	
損傷の種類	表示
ひびわれ	
遊離石灰	
剥離	
漏水・滞水	
鉄筋露出	
豆板・空洞	
その他	

※施工時の現地状況により補修範囲が異なる場合は、監督員と協議の上、数量決定すること。

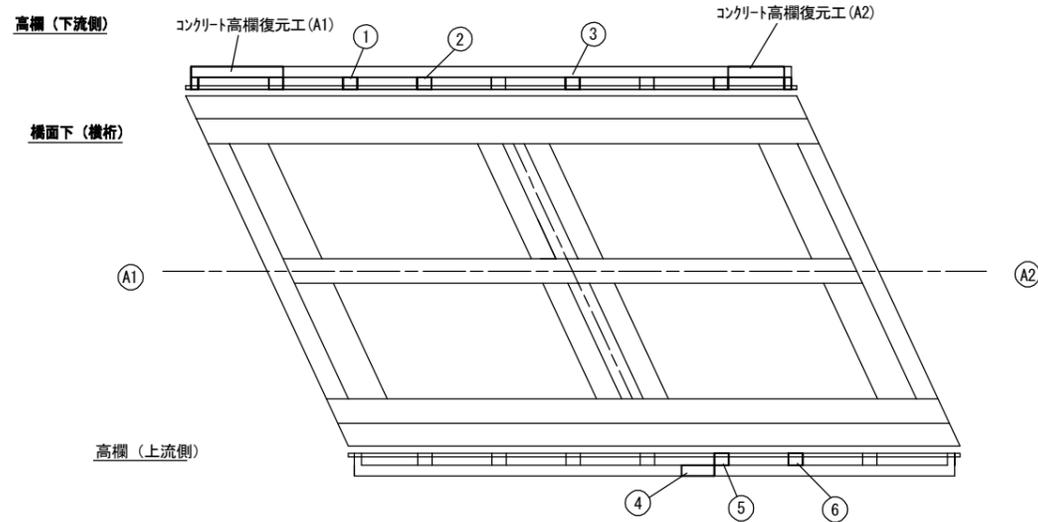
工事名	令和2年度 道路メンテナンス事業 市道蓮池比自岐下川原線一ノ井橋橋梁修繕工事		
図面名	上部工補修図(3)		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	4/8
会社名			
事業者名	伊賀市 道路河川課		

A3出力時は、表記縮尺の倍です。

高欄補修図

(一ノ井橋)

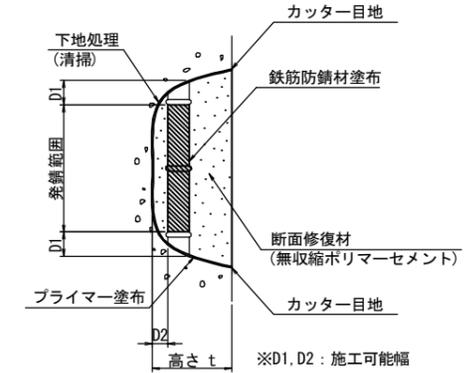
桁下面図
S=1:50



断面修復工A集計表

番号	損傷の種類	部材名	W (m)	H (m)	B (m)	N (箇所)	A (m ²)	V (m ³)
①	剥離・鉄筋露出	高欄(支柱)	0.050	0.170	0.070	1	0.009	0.0006
②	剥離・鉄筋露出	高欄(支柱)	0.030	0.170	0.030	1	0.005	0.0002
③	剥離・鉄筋露出	高欄(支柱)	0.050	0.170	0.060	1	0.009	0.0005
④	剥離・鉄筋露出	高欄	0.470	0.120	0.090	1	0.056	0.0050
⑤	剥離・鉄筋露出	高欄(支柱)	0.070	0.170	0.070	1	0.012	0.0008
⑥	剥離・鉄筋露出	高欄(支柱)	0.070	0.170	0.070	1	0.012	0.0008
合計							0.103	0.0079

断面修復工A 詳細図
S=None

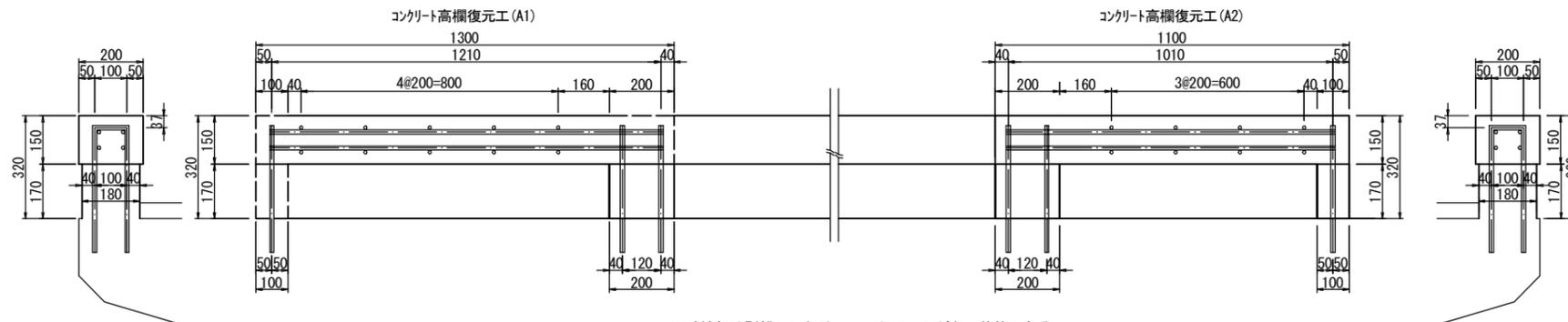


- 【 施工手順 】
- 脆弱部除去
 - ↓
 - 鉄筋の錆除去
 - ↓
 - プライマー塗布
 - ↓
 - 鉄筋防錆材塗布
 - ↓
 - 断面修復材充填
 - ↓
 - 完了

(注記)

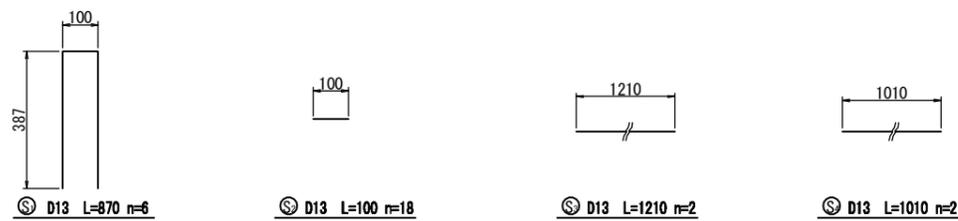
- 剥離 及び 浮上コンクリートは、ハンマー等で完全に除去し、鉄筋が露出する場合は発錆範囲+D1まではつり出す。
- 錆が鉄筋の表面まで達する場合は、鉄筋防錆材塗布が可能な深さD2まで、はつりとする。
- 鉄筋は、ワイヤーブラシ等で錆を除去し、鉄筋防錆材を塗布する。

配筋図
S=1:10



※破線部は剥離しており、コンクリートがない状態である。
既設鉄筋は、健全性を確認し、新設高欄に定着させること。

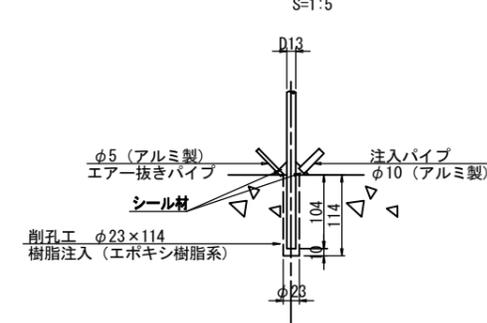
鉄筋加工図
S=1:10



鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当たり質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
S1	D13	870	6	0.995	0.866	5	□
S2	D13	100	18	0.995	0.100	2	—
S3	D13	1210	4	0.995	1.204	5	—
S4	D13	1010	4	0.995	1.005	4	—
合計 D13						16kg	

アンカー削孔詳細図
S=1:5



注：削孔位置と既設鉄筋が干渉する場合は再検討を行い監督員と協議すること。

損傷の凡例	
損傷の種類	表示
ひびわれ	
遊離石灰	
剥離	
漏水・滞水	
鉄筋露出	
豆板・空洞	
その他	

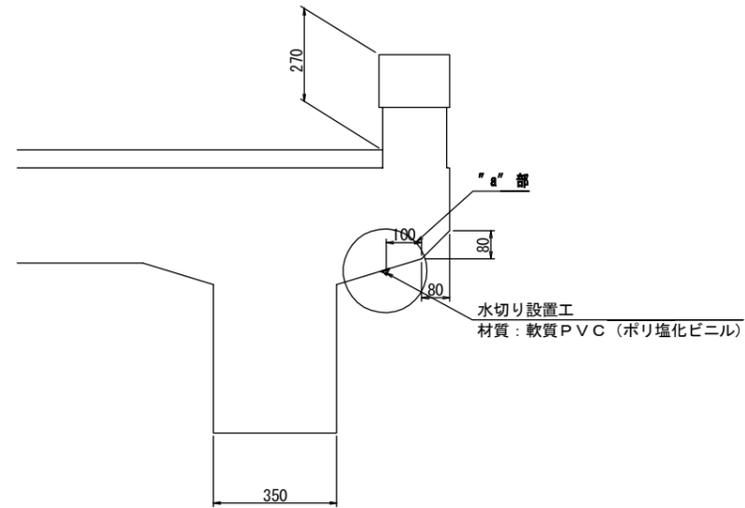
工事名	令和2年度 道路メンテナンス事業 市道蓮池比自岐下川原線一ノ井橋欄補修工事		
図面名	高欄補修図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	5/8
会社名			
事業者名	伊賀市 道路河川課		

A3出力時は、表記縮尺の倍です。

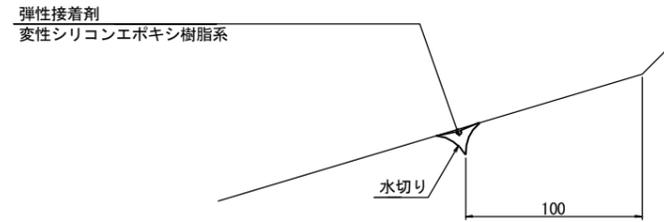
水切り設置工詳細図

(一ノ井橋)

断面図
S=1:10

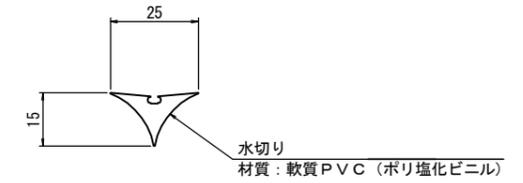


"a"部詳細図
S=1:2

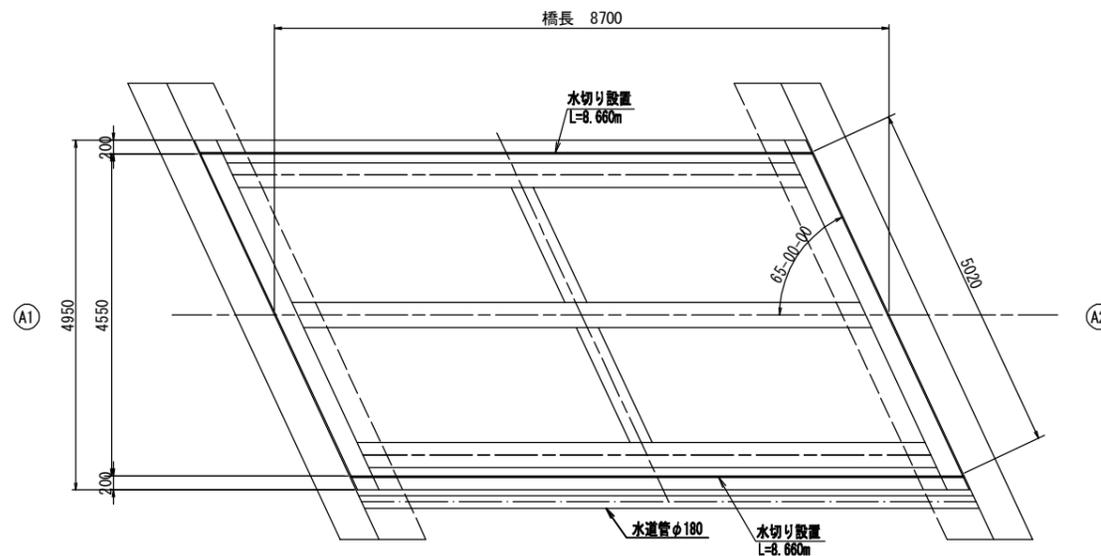


注) 接着面は清掃し、油分、ごみ等を取り除くこと。

水切り材断面図
S=1:1



平面図
S=1:50



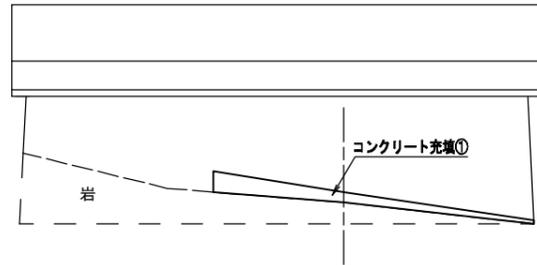
工事名	令和2年度 道路メンテナンス事業 市道蓮池比自岐下川原線一ノ井橋橋梁修繕工事		
図面名	水切り設置工詳細図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	6/8
会社名			
事業者名	伊賀市 道路河川課		

注) 現地再計測の上、施工を行うこと。
A3出力時は、表記縮尺の倍です。

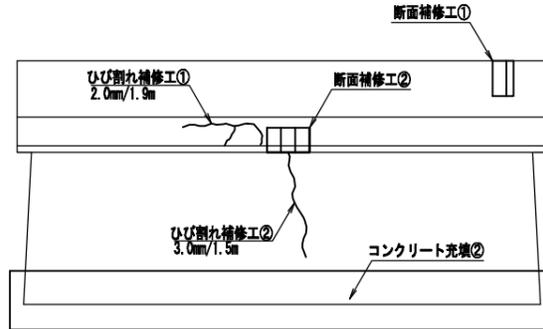
下部工補修図

(一ノ井橋)

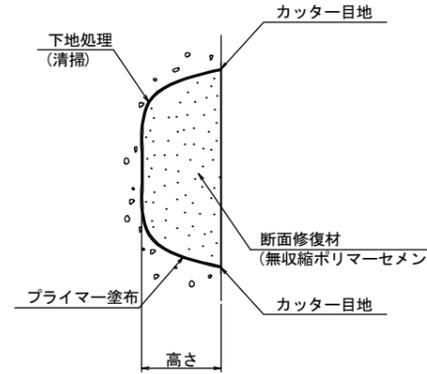
A1橋台 S=1:50



A2橋台 S=1:50



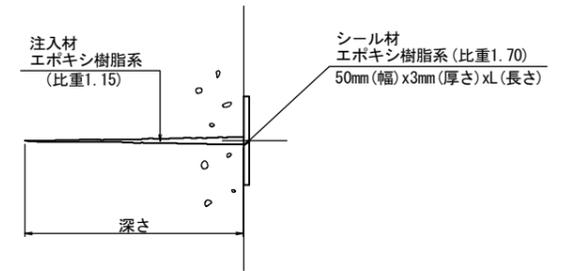
断面修復工D 詳細図 S=None



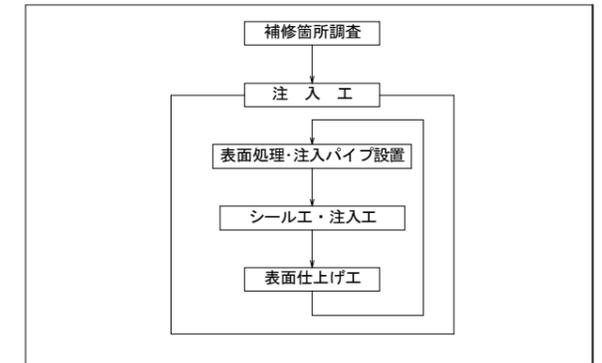
- 【施工手順】
 脆弱部除去
 ↓
 プライマー塗布
 ↓
 断面修復材充填
 ↓
 完了

(注記)
 1. 剥離及び浮上コンクリートは、ハンマー等で完全に除去

ひびわれ注入工 S=None
 エポキシ樹脂低圧注入



施工手順
 ひびわれ注入工



断面修復工D集計表

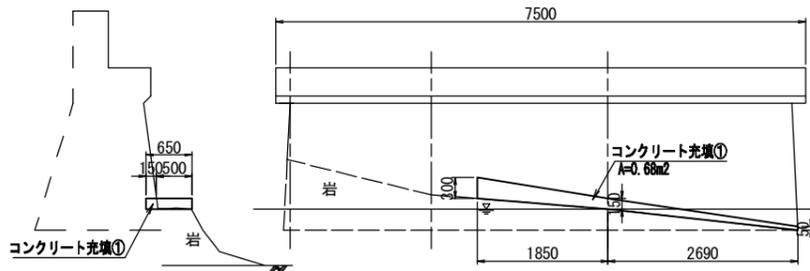
番号	損傷の種類	部材名	B (m)	H (m)	t (m)	N (箇所)	A (m ²)	V (m ³)
①	剥離・鉄筋露出	橋台	0.300	0.500	0.150	1	0.150	0.0225
②	剥離・鉄筋露出	橋台	0.600	0.350	0.010	1	0.210	0.0021
合計							0.360	0.0246

ひびわれ注入工集計表

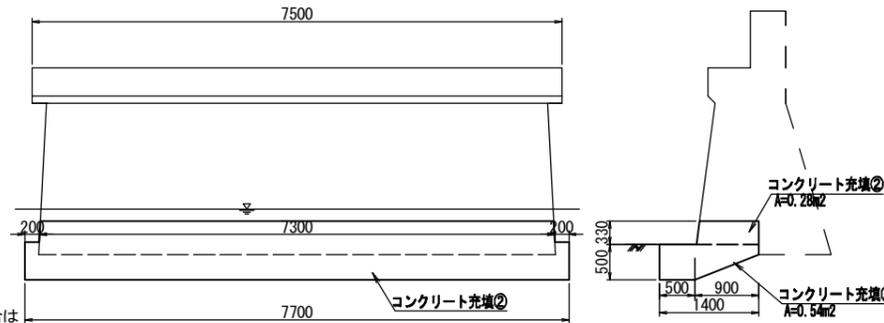
番号	部材名	W (mm)	L (m)
①	橋台	2.0	1.90
②	橋台	3.0	1.50
合計			3.40

コンクリート充填図

A1橋台 S=1:50



A2橋台 S=1:50



※コンクリート充填箇所が常時水位より上方にある場合は型枠の設置が必要ないため現地にて調整を行うこと。
 ※支持層が岩盤である箇所については岩着とすること。

損傷の凡例	
損傷の種類	表示
ひびわれ	
遊離石灰	
剥離	
漏水・滲水	
鉄筋露出	
豆板・空洞	
その他	

※現地状況により補修範囲が異なる場合
 監督員と協議の上、数量決定すること。

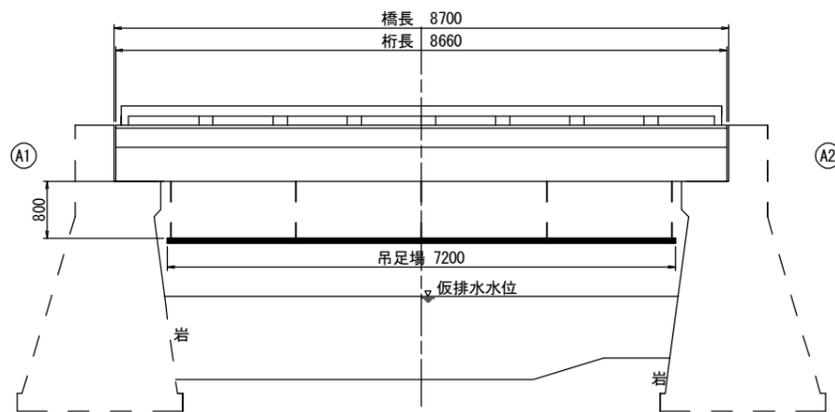
工事名	令和2年度 道路メンテナンス事業 市道蓮池比自岐下川原線一ノ井橋橋梁修繕工事		
図面名	下部工補修図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	7/8
会社名			
事業者名	伊賀市 道路河川課		

A 3出力時は、表記縮尺の倍です。

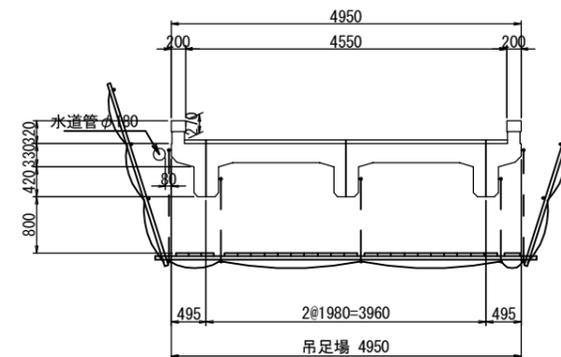
足場架設図

(一ノ井橋)

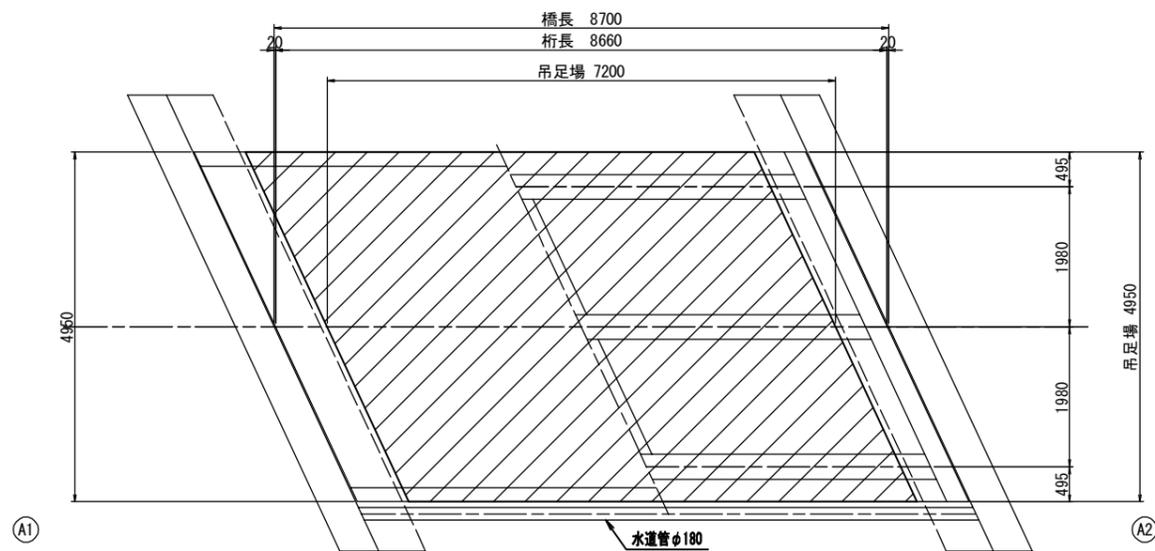
側面図
S=1:50



断面図
S=1:50



平面図
S=1:50



▨ : 吊足場範囲

工事名	令和2年度 道路メンテナンス事業 市道蓮池比自岐下川原線一ノ井橋橋梁修繕工事		
図面名	足場架設図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	8/8
会社名			
事業者名	伊賀市 道路河川課		

A 3 出力時は、表記縮尺の倍です。